



# 学校だより 7月号

石川小学校スローガン

「みどり・ふれあい・すこやか 笑顔いっぱい 石川の子」

令和元年6月28日

横浜市立石川小学校

校長

寺園 淳

## 学びを重ねる

校長 寺園 淳

石川小学校の特色ある教育活動の一つとして、根岸森林公園までの全校遠足に取り組んでいます。1年生から6年生までが入ったグループ（にこにこグループ）を作り、グループを中心に一日活動をします。このような取組は多くの小学校で行われていると思います。私もこれまでの経験から、子どもたちの活動を見守ることにしました。学校をスタートし、ゴールの公園を目指します。この時、高学年のリーダーが道幅を考えながら下級生に声をかけ、2列できちんと歩いていきます。そして、森林公園に到着しました。皆さんもご存知のとおり、森林公園は多くの方の憩いの場になっています。中には周回路をランニングして楽しんでいる方もいます。子どもたちが公園に到着し、広場に移動するときに周回路を横断するのですが、そこでランニングを楽しむ方と交差する状況になりました。するとだれかれともなく、「みんな、道を開けて。邪魔になっちゃうよ。」と自然に声が上がり、道が開きました。ランニングを楽しむ方も、にこりと微笑みながら「ありがとう。」と礼を言うと過ぎていきました。私はこの光景を見て、とても感心しました。子どもたちが集団で活動すると、どうしても自分たちのことに目が行き、周りの状況に気を配れないことがあります。これは極、自然な姿だと考えます。しかし、石川小の子どもは周りの様子を見て、判断することができたのです。これは言われて急にできることではなく、今までの経験から学んで身に付けた力があつたからだと思います。その後も5、6年生が中心となり、楽しい活動が続きしました。

6月18日（火）、全校遠足をリードした6年生が社会科の学習に生かすことを目的に、鎌倉見学に行ってきました。鎌倉まではJR線を使うのですが、駅構内を歩くとき教師が声をかけなくても、列を乱さず整然と進んでいきます。その後ろ姿に全校遠足の姿が重なりました。鎌倉では地図を頼りに、事前に計画を立てたコースをグループごとに見学して回ります。公共の場に適した行動をとるために、グループで協力したり、判断したりすることが必要になります。つまり自立しなければ、よい見学はできません。6年生は今までに学んだことを生かし、見学を進めたのでしょう。ゴールの鶴岡八幡宮に到着した子どもたちは、どの子も満足した様子でした。

6月24日（月）にはスクールゾーン対策協議会が町内会長の皆様を始め、警察署、区役所、土木事務所等の関係機関の方、校外指導委員会の皆さんの出席で行われました。子どもたちの登下校の安全を含め、安心して過ごせるように建設的な意見交換の場となりました。協議会終了後、町内会長様からも子どもの登校の様子を詳しくお話しいただきました。子どもたちが多くの方に見守られていることを実感できる協議会となりました。皆様、ご出席ありがとうございました。

子どもたちは学びを重ねることで、様々な力を蓄えていきます。これからも子どもができる喜びを味わえるよう、教職員一同、研鑽を重ねてまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。